



多摩辺

学校だより
昭島市立多摩辺中学校
校長 堀田 典子
令和5年4月14日



新たなスタート

校長 堀田 典子

保護者の皆様におかれましては、お子様のご進級・ご入学心よりお祝い申し上げます。この3月に102名の生徒がこの多摩辺中学校を巣立ちましたが、今年度は新たに117名の新入生が入学し、2年生112名、3年生108名、全校生徒337名でのスタートとなりました。1週間が過ぎ、子ども達の緊張がほぐれてきたようで、休み時間は明るく元気な声が響いています。

私は、この4月より校長に着任しました堀田 典子（ほった のりこ）と申します。多摩辺中学校での勤務は教諭、副校長を経て、14年目となります。地域を知る強みを活かし、学校・家庭・地域の連携を図り、全教職員一丸となって子ども達が安全に安心して笑顔で過ごせる学校を目指し、取り組んでまいります。どうか本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

4月1日以降のマスク着用の考え方を見直した感染防止対策について

この度、昭島市においても国及び東京都の方針を踏まえ、感染症対策の見直しを行いました。以下の3点は、変更点として、先日、生徒への周知をしました。

- ①毎朝の検温や健康観察、換気、手洗い、消毒等、基本的な感染防止対策の徹底を継続しつつ、マスクの着用は求めないことを基本とする。
- ②給食当番のみ、マスクを着用。食事前後の手洗いを徹底するとともに、配食時は飛沫を飛ばさないように私語を控える。
- ③適切な換気を確保し、「黙食」は必要としないが、大声での会話は控える。

いつもとは異なる体調不良やワクチン接種や接種後の副反応により登校できない場合は、校長が出席しなくてもよいと認める日として、「欠席日数」とはしません。保護者から感染が不安で休ませたいと相談があった場合について、「同居家族に高齢者や基礎疾患がある人がいるなど、合理的な理由があると校長が判断する場合」にも、同様の扱いをします。

熱中症対策としても、マスクの着用は気を付けなければいけない季節となりました。正しく状況を判断して、場面に応じたマスクの着脱についても声を掛けていきます。